

# 80年代から現在

第1弾

## 私たちはその時、どう生きていたのか？

川村毅が、毎回、辻仁成や内田春菊など同世代の文化人をゲストに迎え、肩肘張らない軽いトークで80年代の文化やアート、演劇シーンなどを振り返りつつ、今後の新たな展開について語る対談シリーズ第1弾！

劇作家・演出家

# 川村毅



「新宿八犬伝」は1985年に初演された。そこで今回、今年10月に「新宿八犬伝 第五巻」を上演するにあたり、今一度80年代を考えてみようという企画。閉塞感漂う現在、軽い時代ととらえられていた80年代のエネルギーも捨てたもんじゃないという思いで、同世代、その時期二十歳代であった辻仁成と、80年代を通して今を挑発したい。具体的にはその時期の自分と自分の仕事、さらにその時期に触れた文学、映画、舞台などを雑談しつつ、さてこれからどーするってなことを探る。 川村毅



# 辻仁成

小説家・ミュージシャン・映画監督

## 川村 毅 Takeshi Kawamura

劇作家、演出家。ティーファクトリー主宰。1980年明治大学政経学部在学中に第三エロチカを旗揚げ。2002年自作プロデュースカンパニー、ティーファクトリーを設立、以降発表の拠点としている。「新宿八犬伝 第一巻-犬の誕生-」にて1985年度第30回岸田國士戯曲賞受賞。1996年ACC日米芸術交流プログラムの грант を受けNYに滞在。1998年ニューヨーク大学演劇学科に客員演出家として招かれる。近年の主な作品に、<神なき国の夜>三部作、作・演出（2005-2008年ティーファクトリー）、「オトコとおとこ」（2006年文学座アトリエ公演・書き下ろし）、「アルゴス坂の白い家」（2007年新国立劇場公演・書き下ろし）、「ハムレットクローン」作・演出（2003年ドイツ、2004年ブラジルツアー）、E.イェリネク作「ウルリーケメアリー・スチュアート」（2008年TPT・台本、演出）等。2003年世田谷パブリックシアターと京都造形芸術大学舞台芸術研究センター共催公演として初演の作・演出作品「AOI KOMACHI」は、2007年国内ツアー・NY他北米ツアーにて再演。英・仏・独・伊語に翻訳され、出版や現地でのリーディング公演などが行われている。京都造形芸術大学舞台芸術学科教授。日本劇作家協会、日本演出者協会会員。

HP: <http://www.tfactory.jp/>

## 辻 仁成 Hitonari Tsuji

1985年、ロックバンド、エコーズのボーカリストとしてCDデビュー。89年、処女小説『ピアノシモ』で第13回すばる文学賞受賞。97年小説『海峡の光』で第116回芥川賞受賞。99年、小説『白仏』の仏訳版「Le Bouddha blanc」でフランスのゴンクール賞に並ぶ代表的な文学賞、フェミナ賞・外国小説賞を日本人として初めて受賞。著作は現在までにフランスをはじめ、ドイツ、スペイン、イタリア、トルコ、中国、台湾、韓国、タイなど世界各国で翻訳されている。映画監督として処女作『千年旅人』が99年、第56回ヴェネツィア国際映画祭・批評家週間へ正式招待。01年、第二作目『ほとけ』が第51回ベルリン国際映画祭・パノラマ部門へ正式招待、第3回ドーヴィル・アジア映画祭コンペティション部門にて最優秀イメージ賞受賞。02年、第三作目『フィラメント』が第37回チエコ・カルロヴィ・ヴァリ国際映画祭コンペティション部門へ正式招待。09年、最新作『ACACIA』が東京国際映画祭コンペティション部門にノミネート。2010年6月12日より全国順次ロードショー予定。09年ロックバンドZAMZAのヴォーカリストとして全米デビューを果たす。2010年5月19日、ニューアルバム『月族』を発売し、6月12日渋谷「WOMB」にてliveを行う。フランス在住。京都造形芸術大学芸術表現・アートプロデュース学科教授

HP: <http://www.j-tsuji-h.com/>

# 4月22日(木) 19:00

会場：京都造形芸術大学 人間館1階@cafe

京都市左京区北白川瓜生山2-116 / 市バス「上終町・京都造形大前」駅下車

参加無料 (要予約)

予約申し込み・問合せ・主催：京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター tel 075-791-8199